

平成22年9月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社 ダイナック

上場取引所 東

コード番号 2675 URL <http://www.dynac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若杉 和正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 法務・総務部長 (氏名) 大和田 雄三
CSR推進担当

TEL 03-3341-4216

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第1四半期の業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	9,656	9.9	418	0.9	396	0.2	260	40.5
21年9月期第1四半期	10,719		421		395		185	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	37.08	
21年9月期第1四半期	26.39	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	17,408	3,936	22.6	559.69
21年9月期	17,378	3,746	21.6	532.75

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 3,936百万円 21年9月期 3,746百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期		0.00		10.00	10.00
22年9月期					
22年9月期 (予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	18,500	4.1	270	12.1	230	16.9	60	628.2	8.53
通期	36,500	3.4	690	92.0	600	121.6	140		19.91

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第1四半期	7,033,000株	21年9月期	7,033,000株
期末自己株式数	22年9月期第1四半期	88株	21年9月期	88株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年9月期第1四半期	7,032,912株	21年9月期第1四半期	7,032,912株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1．経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における我が国経済は、世界的な金融危機の影響による景気低迷が続く中、内外の経済対策により景気の一部に持ち直しの兆しが見られるものの、物価低下が持続するなどデフレ傾向は続いており、企業収益や雇用情勢は依然として厳しい状況にあります。

外食業界におきましても、雇用不安や個人所得の減少などの要因で、低価格商品へのシフトや業態の転換が行なわれるなど、低価格競争が激化し、依然として厳しい経営環境にあります。

このような環境の下、当社は、常に「お客様感動満足提供企業」を目指すとともに、世の中の変化やお客様の変化に対応した現場力を強化する目的で平成21年10月に営業統括本部の組織変更を行い、更にお客様との接点にエネルギーを集中させ、食の安心安全の追求と商品・サービスの提供価値を高めてまいりました。

当第1四半期会計期間における新規出店は、串焼きと鶏料理「鳥どり」、新業態のパブ「RCタバーン」、及びゴルフ場レストランなどの計5店舗を出店し、一方で不採算店舗や契約先の事由等により13店舗を閉店いたしましたので、当第1四半期会計期間末の店舗数は251店舗となりました。

当第1四半期会計期間における業績につきましては、「倶楽部ダイナック（顧客会員カード）」の特別加算ポイントカードの発行や来店頻度を高める特別割引優待券の配布など、売上の拡大に努めましたが、不採算店舗の撤退による店舗数の減少や年末商戦期の来客数の伸び悩み等により、売上高は9,656百万円（前年同期比9.9%減）となりました。利益面ではFL（材料費・労務費）コストのコントロールをさらに徹底し、販売費及び一般管理費はより効率的な業務活動による一層の固定費の最適化に努めました結果、売上高の減少による損益影響額を抑制することができ、経常利益は396百万円（前年同期比0.2%増）、四半期純利益は260百万円（前年同期比40.5%増）となりました。

事業部門別の概況は以下のとおりです。

レストラン・バー事業の出店・閉店及び業績の概況は、ほぼ前述でご説明のとおりであり、売上高は8,805百万円（前年同期比10.8%減）、売上総利益は1,143百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

ケータリング事業は、法人需要の掘り起しに努め、売上高は196百万円（前年同期比0.5%減）、売上総利益は24百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

その他の事業は、高速道路通行料金の割引による景気刺激策の影響もあり、三木サービスエリアの売店収入の伸長により、売上高は653百万円（前年同期比0.5%増）、売上総利益は115百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

2．財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の資産合計は17,408百万円となり、前事業年度末と比べ30百万円増加となりました。その主な増減内容につきましては、以下のとおりです。

流動資産は、前事業年度末と比べ154百万円増加となりました。これは主に現金及び預金54百万円、売掛金161百万円、未収入金54百万円の増加に対し、繰延税金資産152百万円が減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べ123百万円減少となりました。これは主に繰延税金資産71百万円の増加に対し、建設仮勘定42百万円、敷金及び保証金130百万円が減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末と比べ158百万円減少となりました。これは主に買掛金769百万円、未払費用341百万円の増加に対し、借入金1,220百万円が減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ189百万円増加となりました。これは主に利益剰余金190百万円が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末より1.0ポイント増加の22.6%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ54百万円増加の276百万円となりました。

なお、当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,353百万円(前年同期は1,564百万円の資金獲得)となりました。これは主に当第1四半期会計期間末が銀行の休日にあたり、買掛金及び未払費用の支出が第2四半期会計期間に繰り延べられたことによる支払債務の増加1,113百万円、及び税引前四半期純利益の計上357百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、14百万円(前年同期は52百万円の資金獲得)となりました。これは主に新規出店に伴う設備、敷金及び保証金の支出105百万円に対し、敷金及び保証金の回収による収入126百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,284百万円(前年同期は1,439百万円の資金使用)となりました。これは主に借入金の返済による支出1,220百万円があったことによるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期第2四半期累計期間及び通期の業績につきましては、平成21年11月5日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

(四半期損益計算書)

前第1四半期会計期間において、店舗等の撤退の意思決定に伴う損失を「店舗閉鎖損失」として表示しておりましたが、より明瞭に表示するため「店舗等撤退損失」として表示することにしました。

(四半期キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期会計期間において、店舗等の撤退の意思決定に伴う損失を営業活動によるキャッシュ・フローの「店舗閉鎖損失」として表示しておりましたが、より明瞭に表示するため「店舗等撤退損失」として表示することにしました。

5 . 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	276,042	221,245
売掛金	1,915,954	1,754,394
商品	49,972	40,448
原材料及び貯蔵品	222,967	202,472
その他	622,443	724,611
貸倒引当金	100,000	110,000
流動資産合計	2,987,380	2,833,172
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	5,127,325	5,096,693
その他 (純額)	677,286	733,472
有形固定資産合計	5,804,612	5,830,165
無形固定資産	65,358	65,383
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,651,553	6,782,216
その他	2,221,148	2,178,597
貸倒引当金	321,444	311,444
投資その他の資産合計	8,551,258	8,649,368
固定資産合計	14,421,229	14,544,917
資産合計	17,408,609	17,378,090

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,446,198	1,676,707
短期借入金	1,780,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,600,000	1,900,000
未払法人税等	40,000	82,000
未払費用	1,973,778	1,631,918
賞与引当金	-	226,000
役員賞与引当金	7,000	4,400
その他	742,721	540,612
流動負債合計	8,589,698	8,761,637
固定負債		
長期借入金	3,400,000	3,400,000
退職給付引当金	1,331,349	1,318,085
役員退職慰労引当金	60,617	56,928
その他	90,711	94,636
固定負債合計	4,882,678	4,869,651
負債合計	13,472,376	13,631,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,741,625	1,741,625
資本剰余金	965,175	965,175
利益剰余金	1,227,756	1,037,303
自己株式	99	99
株主資本合計	3,934,456	3,744,003
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,776	2,797
評価・換算差額等合計	1,776	2,797
純資産合計	3,936,233	3,746,801
負債純資産合計	17,408,609	17,378,090

(2) 四半期損益計算書
 (第 1 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成20年10月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成21年10月 1 日 至 平成21年12月31日)
売上高	10,719,047	9,656,125
売上原価	9,279,004	8,373,071
売上総利益	1,440,043	1,283,053
販売費及び一般管理費	1,018,203	865,027
営業利益	421,840	418,026
営業外収益		
受取利息	344	212
受取配当金	176	176
保険事務手数料	476	474
その他	763	208
営業外収益合計	1,760	1,072
営業外費用		
支払利息	25,763	21,435
その他	2,084	1,243
営業外費用合計	27,848	22,679
経常利益	395,752	396,419
特別利益		
固定資産売却益	7,000	47
特別利益合計	7,000	47
特別損失		
固定資産除却損	5,694	5,277
減損損失	20,357	-
店舗閉鎖損失	26,745	-
店舗等撤退損失	-	31,877
その他	1,600	1,580
特別損失合計	54,398	38,736
税引前四半期純利益	348,354	357,730
法人税、住民税及び事業税	15,495	15,964
法人税等調整額	147,228	80,984
法人税等合計	162,723	96,948
四半期純利益	185,630	260,781

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	348,354	357,730
減価償却費	245,476	189,556
減損損失	20,357	-
店舗閉鎖損失	26,745	-
店舗等撤退損失	-	31,877
賞与引当金の増減額(は減少)	243,000	226,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,107	-
受取利息及び受取配当金	520	389
支払利息	25,763	21,435
売上債権の増減額(は増加)	245,050	160,455
たな卸資産の増減額(は増加)	71,017	30,018
仕入債務の増減額(は減少)	848,915	769,490
未払費用の増減額(は減少)	524,225	344,435
その他	141,950	113,801
小計	1,626,307	1,411,465
利息及び配当金の受取額	520	389
利息の支払額	23,625	23,928
法人税等の支払額	38,310	33,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,564,892	1,353,962
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	165,084	92,513
敷金及び保証金の差入による支出	14,365	13,139
敷金及び保証金の回収による収入	230,536	126,960
その他	1,041	35,970
投資活動によるキャッシュ・フロー	52,128	14,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,390,000	920,000
長期借入金の返済による支出	-	300,000
配当金の支払額	49,927	64,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,439,927	1,284,501
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	177,093	54,797
現金及び現金同等物の期首残高	179,505	221,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	356,599	276,042

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

当第1四半期累計期間の販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第1四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	前年同期比
	(千円)	(%)
レストラン・バー事業	8,805,447	89.2
ケータリング事業	196,940	99.5
その他の事業	653,736	100.5
合計	9,656,125	90.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

なお、当第1四半期累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

地域別	当第1四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	前年同期比
	(千円)	(%)
東京都	4,159,650	89.1
埼玉県	284,931	82.6
千葉県	309,421	112.3
神奈川県	463,137	90.0
滋賀県	315,845	75.3
大阪府	1,727,471	88.5
兵庫県	1,243,549	93.3
その他の事業	1,152,118	95.1
合計	9,656,125	90.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。